

9月20日 麻生区片平で住民集会「片平の立坑を考える」

9月20日(土)13:30～麻生区の片平会館で開かれたリニア沿線住民集会「片平の立坑を考える」には、地元を中心に65名の市民が参加しました。

町田市に隣接する片平地域では、川崎市に5カ所建設予定の立坑の一つが鶴川総合運動場に計画されています。またJR東海は、環境影響評価準備書や評価書では立坑から尻手黒川線の延長である県道上麻生連光寺線まで工事用の取り付け道路を計画しています。このためリニア建設の工事が始まれば、10年以上に及ぶ工事期間中は、この静かな住宅地や農園を立坑から排出される残土を積んだ工事車両が走りまわり、騒音や振動、交通渋滞、大気汚染など生活環境の悪化が懸念されています。

片平地域での住民集会は、「リニア新幹線を考える麻生・多摩の会」が企画し、2000枚以上のチラシの地域配布で呼びかけたものですが、この種の集会には初めて参加する方がほとんどで、「東京神奈川連絡会」の代表・天野さんや、「麻生・多摩の会」の世話人・伊藤さんの話に熱心に耳を傾け、また率直な質問や意見を交換しました。JR東海が住民への丁寧な説明を怠っている中で、リニアの問題を身近に考える貴重な機会を提供できました。

